

日本機械学会フェローに認定

エネルギー応用研究所 都市・産業技術グループ長の渡邊激雄さんは、当社では初めて、2009年度日本機械学会フェローに認定され、認定証とバッジが贈呈されました。フェロー制度は、機械工学・機械技術と社会および日本機械学会の発展に顕著な貢献をなし、学会を代表するにふさわしい技術者に日本機械学会フェローの称号が与えられるものです。

渡邊グループ長は、永年にわたる、環境に調和したエネルギー技術の研究開発に貢献されたことが認められたものです。今後も高い見識と責任感を持って国際社会における機械技術者の代表として活躍されることが期待されています。



認定された渡邊激雄グループ長

「第4回中部電力グループ知的財産情報連絡会」を開催

5月13日、東桜会館において、中部電力グループ会社を対象に、知的財産に対する知識・意識の向上およびグループ会社間の情報交換を目的として、「第4回中部電力グループ知的財産情報連絡会」を開催しました。会議では、石田国際特許事務所の石田喜樹所長(弁理士)と園田清隆弁理士による講演「事業活動と不正競争防止法」を通じて、ビジネスにおける商品等の不正表示や形態模倣行為のリスクについて知識を高めました。また、知的財産に関する契約上の注意点や、グループ会社のホームページを事例にした身近な知的財産の注意点について説明を行い、知的財産に関する知識・意識の向上を図ることができました。



会場の様子(講演する石田所長)

名古屋大学エコトピア科学研究所へ寄附研究部門(第5期)を創設

4月22日、名古屋大学エコトピア科学研究所エネルギーシステム(中部電力)寄附研究部門(第5期)の創設記念式典が、名古屋大学において盛大に催され、濱口総長より当社に対し感謝状が贈呈されました。この寄附研究部門は、当社寄附により平成8年に創設されて以来、継続維持されており今年で第5期、15年目を迎えます。すでに部門から300名を超える人財を社会に輩出しており、今後も次代を担う研究者の育成と研究および産学連携拠点として期待されます。また、式典後には記念シンポジウムがあり、次世代の環境調和型電力エネルギーシステムについて、これまでの研究活動報告も含め、講演が行われました。



名古屋大学 濱口総長より感謝状を受ける藍田本部長